

高知県医療審議会平成23年度第1回医療従事者確保推進部会
(平成23年4月21日)

1 報告事項

(1) 平成22年度取り組み状況について

① 医療従事者確保について

ア 医師

【医師養成奨学貸付金】

貸付額…月額15万円(特定科目の志望者は8万円を加算)

貸付者…57名(新規31名、継続26名) / 貸付枠 新規28名

【特定科目臨床研修奨励貸付金(小児科、産科等)】

貸付額…月額12万円

貸付者…4名(初期:新規2名、継続1名、後期:新規1名) / 貸付枠 5名

【家庭医療学講座の開設】

高知大学医学部に家庭医療学講座を設置

【高知医療再生機構への補助】

(指導医の育成及び確保支援事業)

- ・指導医資格を目指す専門医に対する支援。(10名)
- ・指導医資格を持つ医師を招聘・確保した医療機関に対する支援。(1件)

(医学生・研修医の高知県内研修支援事業)

- ・医師養成奨学金借受者等に対する県内の地域医療実習等への参加者に対する旅費の支援。(11名)
- ・本県の臨床研修病院を見学するための県外の医学生に対する支援。(1名)
- ・県外の臨床研修医が県内の臨床研修協力施設で「地域医療」研修を行う際に必要となる経費の支援(22名)。
- ・地域医療研修指導医の研修に必要な経費の支援。
- ・県内での初期臨床研修医の確保などの事業を実施する協議会に対する活動経費に対する支援。

(若手医師レベルアップ事業)

- ・大学・学会認定の研修病院の指導医に対する若手医師の専門医取得のための研修環境整備に対する支援。25件(対象者196名)
- ・県内の若手医師が国内の医療機関に短期留学する経費に対する支援。(1名)
- ・県内の若手医師が国内外の医療機関に長期留学する経費の支援。(5名)
- ・県内で確保・養成が特に必要とされている医療分野について、病院が行う若手医師対象のセミナー等の開催の支援。(7件)

(コメディカル資質向上支援事業)

- ・コメディカル職員が、専門知識の習得や業務分担を促進させるために職員自らが企画し開催する研修会に係る経費の支援。(4件)
- ・認定看護師等の資格を取得するための長期研修に係る経費の支援。5件(6名)

(医師招聘・派遣斡旋事業)

- ・県出身の帰高希望医や退職医で転地希望者などの県外医を対象に、県内で働く機会のPR、県内の医師求人情報の提供を行い、県外からの医師の流入の促進。
- ・専門の医師求人サイトと連携し、医師に対して訴求力のあるサイトの公開や医師専門誌を活用した広報の実施。

(地域医療教育研修拠点施設整備支援事業)

高知大学医学部内に、医学に関するシミュレーション教育を、研修医等に対して実施できる拠点の整備と併せ、県外からの研修医を受け入れることのできる宿泊等の整備の支援。

設計委託料を補助：37,086千円の補助

詳細：RC5F、2,922m²（訓練・学習施設766m²、宿泊施設2,156m²）

(安芸保健医療圏連携推進事業)

安芸保健医療圏での病院GPの育成拠点の整備に対する支援。

イ 看護師

【看護職員確保対策事業】

ナースセンター事業、新人看護職員の離職防止等などの各種事業を高知県看護協会に委託し、看護師等の確保と定着を図る

- ・新人看護離職防止研修会の開催 受講者 672名（延べ人数）
- ・ふれあい看護体験の実施 参加者 443名、受入施設 49施設
- ・実習指導者講習会の開催 受講者 40名

【看護学生を対象とした就職説明会】

納得のいく職場探しの機会を提供して新人の離職防止につなげ、看護職員の確保が困難な医療機関を支援するため、看護学生を対象とした就職説明会を実施

→ 平成23年3月21日 高知市文化プラザ かるぼーと（参加予定病院 52施設）

【助産師、看護師等養成奨学貸付金】

県内の看護師等の確保が必要な地域の医療機関で、将来看護師等の業務に従事しようとする看護学生に対して、奨学金を貸与

→ 貸付者 79名（新規36名、継続43名）

【助産師緊急確保対策奨学貸付金】

県外の助産師養成所に在学し、卒業後に県内の分娩取扱医療機関で助産師として就業する意思のある者に、奨学金を貸与

→ 貸付者〔新規〕県内 4名 / 貸付枠 4名 県外 4名 / 貸付枠 7名
〔継続〕県内 2名

【民間看護師等養成所への運営費補助】

県内の民間看護師等養成所（5施設）に対して、運営費の補助を行った

【看護師宿舎の施設整備】

医療機関における看護師確保を図るため、宿舎整備に対して補助を行った

→ 補助先：渭南病院（土佐清水市）（H22.4.22完成）

② 県内初期臨床研修医採用・進路状況について

ア 県内管理型研修病院研修医採用者数

・H23 募集定員96名 マッチング等結果50名 採用人数38名

イ 平成22年度初期臨床研修修了者の進路

・終了者数34名 進路(県外7名、県内27名(うち大学13名)) 県外からの転入6名

③ へき地医療に係る取組状況について

ア へき地医療拠点病院後方支援実績(H22)

無医地区巡回診療及びへき地診療所への代診

イ へき地医療拠点病院後方支援計画(H23)

無医地区巡回診療及びへき地診療所への代診

④ 高知県第七次看護職員需給見通しについて

看護職員の安定かつ計画的な確保の方策を具体化するため、県が概ね5年ごとに策定する。今後5年間(H23年~27年)の本県における看護職員の需要数と供給数について策定。

(2) 平成23年度予算について

2 協議事項

(1) 第11次高知県へき地保健医療計画の策定について

国から示された第11次計画の策定指針に基づき、本県の地域の実情に応じた第11次高知県へき地保健医療計画(平成23年4月1日から5年間)についての審議、承認

(2) 第5期高知県保健医療計画の評価及び第6期高知県保健医療計画策定スケジュールについて

- ・第5期高知県保健医療計画における医師確保等の取り組みに関する中間評価の承認
- ・第6期高知県保健医療計画策定スケジュールの承認

(3) 高知県地域医療再生計画について

平成23年度高知県地域医療再生計画の策定方針についての承認

高知県医療審議会平成23年度第2回医療従事者確保推進部会

(平成24年3月19日)

協議報告事項

(1) 平成23年度取り組み状況について

① 医療従事者確保について

ア 医師

【医師養成奨学貸付金】

貸付額…月額15万円(特定科目の志望者は8万円を加算)

貸付者 … 84名(新規31名、継続54名) / 貸付枠 新規31名

【特定科目臨床研修奨励貸付金(小児科、産科等)】

貸付額…月額12万円

貸付者 … 1名(初期:継続1名) / 貸付枠 6名

【家庭医療学講座の開設】

高知大学医学部に家庭医療学講座を設置

【高知医療再生機構への補助】

(指導医の育成及び確保支援事業)

- ・指導医資格を目指す専門医に対する支援。(16名)
- ・指導医資格を持つ医師を招聘・確保した医療機関に対する支援。(1件)
- ・寄附講座設置支援

講座名 災害・救急医療学講座

設置目的 高知県における災害医療及び救急医療に関する臨床教育及び研究体制を強化するとともに、高知県及び県下の救命救急センターその他の救急医療機関との連携の下、災害・救急医療の質の向上と救急医療をはじめとした医療人材の確保及び育成を図る。

設置期間 平成23年11月1日から平成24年3月31日

設置場所 高知大学医学部

(医学生・研修医の高知県内研修支援事業)

- ・医師養成奨学金借受者等に対する県内の地域医療実習等への参加者に対する旅費の支援。(15名)
- ・本県の臨床研修病院を見学するための県外の医学生に対する支援。(17名)
- ・県外の臨床研修医が県内の臨床研修協力施設で「地域医療」研修を行う際に必要となる経費の支援(16名)。
- ・県内の臨床研修協力施設で地域医療研修の指導にあたる医師の資質向上を図るため、研修会の参加や指導医の情報交換等に要する経費の支援。(1団体)
- ・高知県臨床研修連絡協議会が初期臨床研修医確保及び県内の臨床研修の質の向上を図るための活動費に対する支援。
- ・県内の初期臨床研修医の資質向上を図るために実施する合同研修会等の開催に対

する助成。

(若手医師レベルアップ事業)

- ・大学や学会認定の研修病院の指導医等が、若手医師の専門医資格取得のため研修環境整備を行う経費の支援。(29名)
- ・近年新たに必要となっている分野(産婦人科における「臨床遺伝」分野など)の知識習得のため、サブスペシャリティ領域の専門医資格を目指して行う活動に対する支援。(19名)
- ・若手医師が国内外の先進的医療機関に短期又は長期留学する経費の支援。
(短期1名、長期1名)
- ・指導医の招聘・確保が困難であり、かつ、高知県の医療政策上、確保・養成が特に必要とされている医療分野(児童精神・神経内科・小児外科など)について、若手医師の増加及び育成を行うため、県内の医療機関に勤務する医師が、病院の枠組みを超えた研修セミナー等を開催する経費の支援。(8件)

(コメディカル資質向上支援事業)

- ・県内の医療機関等に勤務する看護職員が、認定看護師資格を取得するために必要な研修を行う経費の支援。(10名、7医療機関)
- ・安心して質の高い医療提供体制の充実を図るため、県内の医療機関等に勤務する看護職員等が、先進的な医療機関等で研修を行う経費の支援。(4医療機関)
- ・看護職員等が、専門知識の習得や業務分担を促進させるために、職員自らが企画し、自主的に開催する研修会に係る経費の支援。(7医療機関)

(医師招聘・派遣斡旋事業)

- ・県内の医療機関への就業を希望する医師の訪問や高知県へ招待し、県内の医療の状況や生活環境に関する情報、県や機構の支援策等について説明・紹介を行い、県外か流入を促進した。また、インターネットを活用して、県内の医師求人情報を提供した。
実績 登録医療機関 65 (公開中 56)
- ・著名な医師を講師に招き、主に医学生や若手医師を対象とする講演会を開催した。また、専門誌やインターネットを活用して、県内の臨床研修病院や、高知医療再生機構の医師の研修環境整備の取組について情報発信を行った。

- 実績
- ・H24.2.18 第1回高知フェスの開催支援
 - ・リンクスタッフのe-doctor、e-residentによる情報発信
 - ・「日本医事新報」「日経メディカル」への広告掲載
 - ・ウェルカムネットニュースの発行 など

(医師確保対策事業)

- ・県外で活躍されている著名な県関係医師を協力員(こうちの医療RYOMA大使)として委嘱し、県内での勤務を希望する医師等の情報提供・斡旋の依頼。
(14名)
- ・県内の医療機関が、医師専門の職業紹介事業者を利用して、求職中の医師に働きかけを行った。また、業者が運営する専用Webサイトを通じて、情報発信を行い、メール登録医師に対し働きかけを行った。(9医療機関)

(安芸医療圏連携推進事業)

- ・安芸保健医療圏での医療連携をスムーズに行うための体制構築について支援した。
病院GP養成プログラム検討会の実施

(地域医療教育研修拠点施設整備支援事業)

- ・高知大学医学部内に、研修医等を対象とした医学に関するシミュレーション教育を実施できる拠点整備と、県外からの研修医を受け入れることのできる宿泊等の整備を支援した。

(県立安芸病院(あき総合病院)整備支援事業)

- ・病院GP等のキャリア形成拠点となる新県立病院の整備の支援。

(県外からの医師招聘定着及び赴任医師の勧誘支援事業)

- ・高知県内での勤務を希望する医師を一定期間高知医療再生機構が雇用し、医師の希望する医療機関に派遣。

実績 H23.4から1名、H24.2から1名

- ・県外私立大学連携医師招聘事業

講座名 高知県地域医療支援講座

設置目的 聖マリアンナ医科大学が、高齢化・過疎化が進む高知県の地域医療を支援し、又、地域医療の課題等を研究することにより、高知県の医療の向上を図り、併せて、双方に関係する医師のキャリア形成に資する。

設置期間 平成24年2月27日から平成24年3月31日

設置場所 聖マリアンナ医科大学

- ・県外から高知県内に赴任する医師や、高知市周辺から県内郡部に赴任する医師の処遇改善・研修のための奨励金による支援。(82名)

イ 看護師

【看護職員確保対策事業】

ナースセンター事業、新人看護職員の離職防止等などの各種事業を高知県看護協会に委託し、看護師等の確保と定着を図る

- ・新人看護離職防止研修会の開催 受講者 521名(延べ人数)
- ・ふれあい看護体験の実施 参加者 518名、受入施設53施設
- ・実習指導者講習会の開催 受講者 40名

【看護学生を対象とした就職説明会】

県内の看護師等の確保が必要な地域の医療機関で、将来看護師等の業務に従事しようとする看護学生に対して、奨学金を貸与

→ 貸付者 80名(新規27名、継続53名)

【助産師緊急確保対策奨学貸付金】

県外の助産師養成所に在学し、卒業後に県内の分娩取扱医療機関で助産師として就業する意思のある者に、奨学金を貸与

→ 貸付者(新規)県内4名 / 貸付枠6名

県外 4名 / 貸付枠 5名

〔継続〕 県内 4名

【民間看護師等養成所への運営費補助】

県内の民間看護師等養成所（5施設）に対して、運営費の補助を行った

【看護学生を対象とした就職ガイドの作成】

看護職員の県内医療機関への就職を支援するため、看護学生を対象として就職ガイドを作成 69施設

② 県内初期臨床研修医採用・進路状況について

ア 県内管理型研修病院研修医採用者数

・H24 募集定員96名 マッチング等結果55名

イ 平成22年度初期臨床研修修了者の進路

・終了者数34名 進路(県外7名、県内27名(うち大学13名)) 県外からの転入7名

③ へき地医療に係る取組状況について

ア へき地医療拠点病院後方支援実績 (H23)

無医地区巡回診療及びへき地診療所への代診

イ へき地医療拠点病院後方支援計画 (H24)

無医地区巡回診療及びへき地診療所への代診

(2) 平成24年度予算について

(3) へき地診療所の設置について

(4) 第6期高知県保健医療計画策定スケジュールについて

・第6期高知県保健医療計画策定スケジュール説明

(5) 高知県地域医療再生計画について

平成23年度高知県地域医療再生計画説明

高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会

1 開催日 平成23年12月12日(月)

2 議題

(1) 第6期医療計画の策定について

今後の計画策定のスケジュールや厚生労働省の「医療計画の見直し等に関する検討会」での検討状況について報告を行った。

また、第6期医療計画の項目案として、これまでの4疾病5事業に新たに精神疾患及び在宅医療が加わること、また、災害時の医療体制の充実が図られることについても報告を行った。

(2) 平成23年度患者動態調査の結果報告について

平成23年9月16日(金)に県内の病院及び診療所を対象に一日限定の外来及び入院患者を対象に、全数調査を実施した。

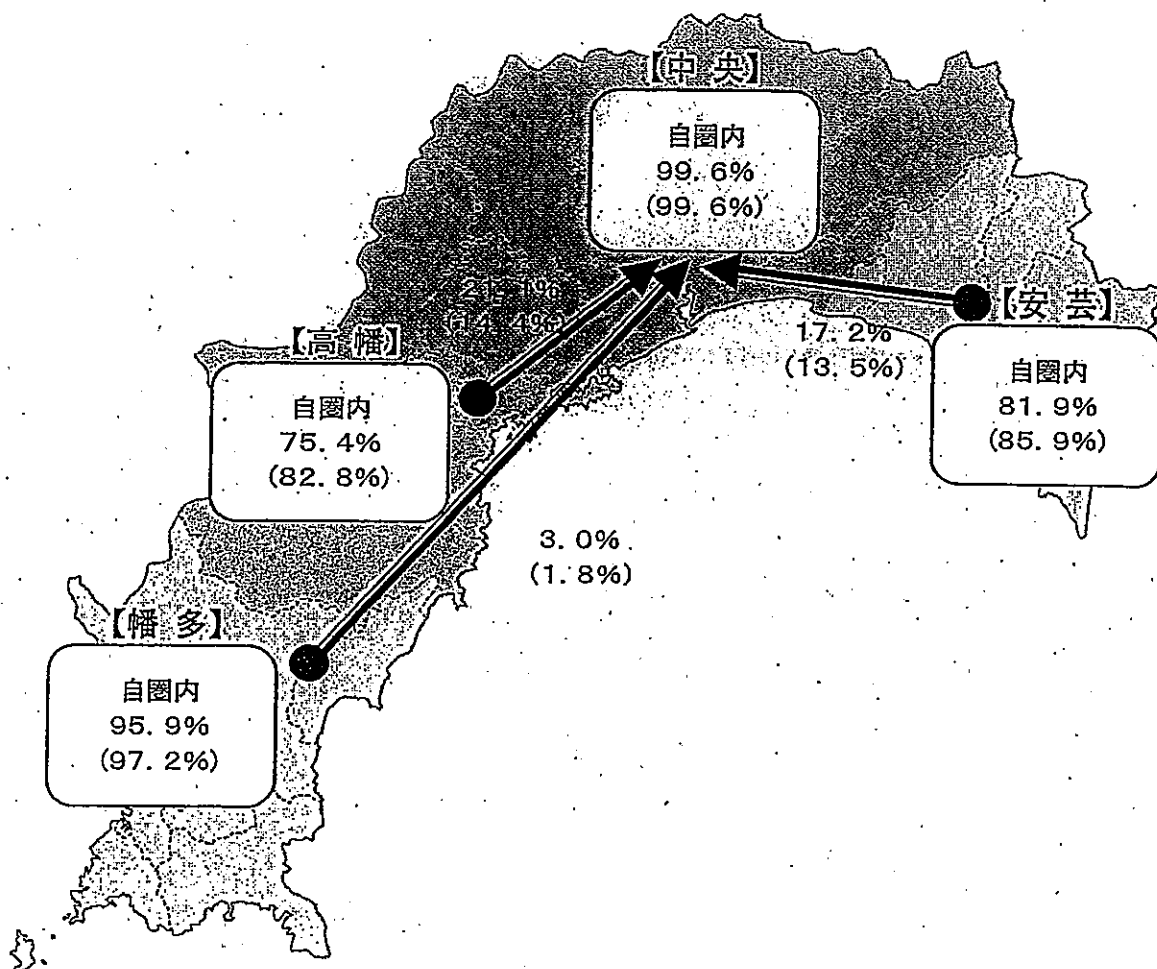
(平成23年度 患者動態調査の概要)

- ① 調査対象医療機関 病院(137箇所)・診療所(445箇所)・老人保健施設(29箇所)
*歯科、老人ホーム、調査当日の診療がない診療所等除く
- ③ 調査項目 入院・外来別(患者住所、性別、年齢、医療機関種別・所在地、
受診診療科目、受診の状況、主病名、紹介医の有無等)

医療圏名	中央		安芸	高幡	幡多	県外 (市立宇和島、 徳島県立海部、 徳島武林眼科)	合計
	高知市	高知市 以外					
回収 医療機関数	314	149	43	39	69	3	617
未回収 医療機関数	3	0	1	1	0	0	5
回収 入院票数	9,503	3,832	869	908	1,791	26	16,929
回収 外来票数	23,297	10,031	3,273	2,678	4,470	63	43,812
					回収率 99.2%	調査票 合計数	60,741

*参考 平成17年度 合計件数 63,803件 (入院件数 17,774件、外来件数 46,029件)

		患者地域					
医療機関地域	1 幡多	2 高幡	3 中央	4 安芸	5 県外	6 不明	総計
1 幡多	4,256	112	28	2	71	1	4,470
2 高幡	26	2,609	30	1	10	1	2,677
3 中央	133	730	31,604	672	153	35	33,327
4 安芸	1	1	60	3,194	18	1	3,275
5 県外	23	7		32		1	63
総計	4,439	3,459	31,722	3,901	252	39	43,812
自圏内	95.9%	75.4%	99.6%	81.9%			
幡多から中央	3.0%						
高幡から中央		21.1%					
安芸から中央				17.2%			



患者住所別患者数

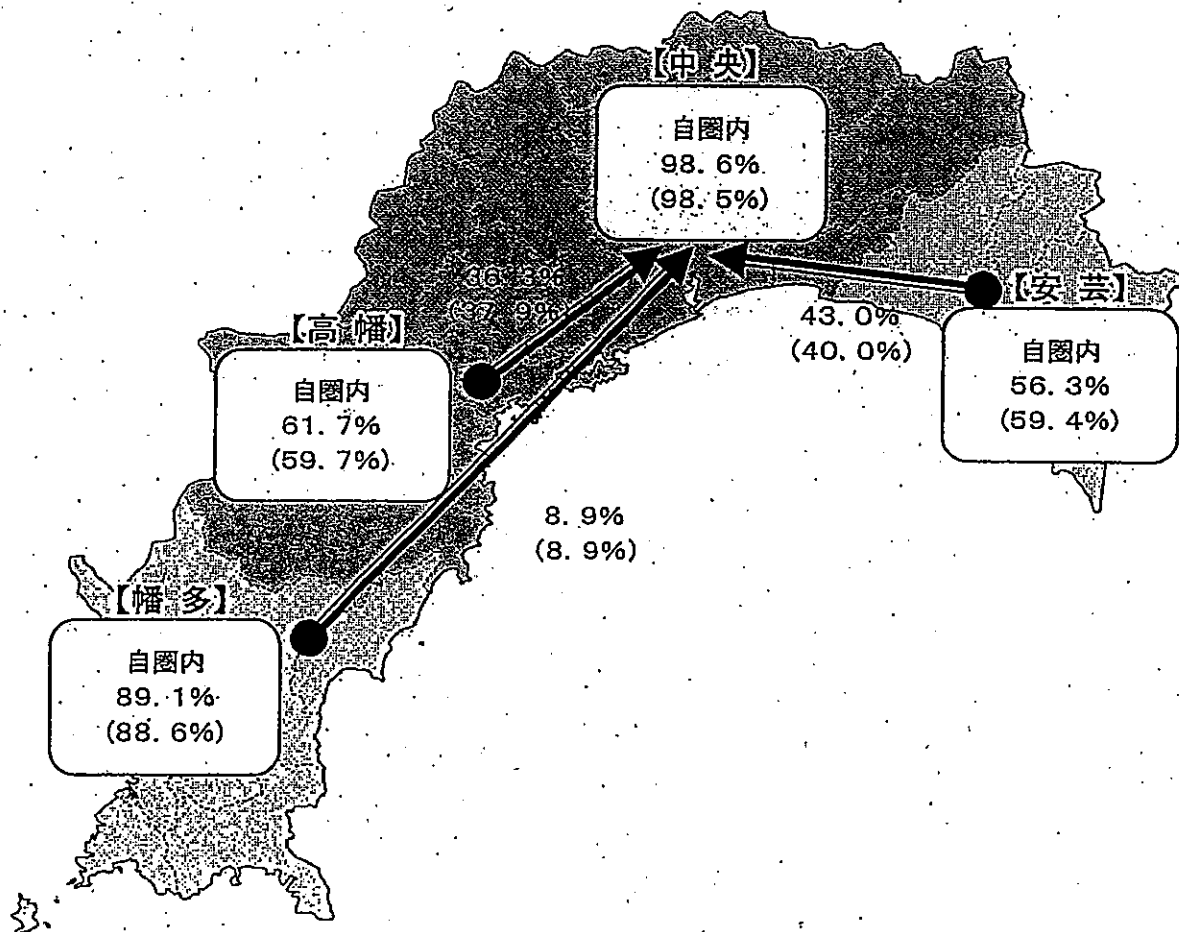
県計	幡多	高幡	中央	安芸
43,521	4,439	3,459	31,722	3,901
(46,029)	(4,936)	(3,932)	(32,806)	(4,355)

出典：平成23年度高知県患者動態調査

()内は平成17年度調査

※患者住所不明・県外を除く

合計 / 件数 医療機関地域	患者地域						総計
	1 幡多	2 高幡	3 中央	4 安芸	5 県外	6 不明	
1 幡多	1,675	15	4	1	95	1	1,791
2 高幡	28	839	39	1	1		908
3 中央	167	493	11,966	563	136	9	13,334
4 安芸		4	125	736	5		870
5 県外	10	9		7			26
総計	1,880	1,360	12,134	1,308	237	10	16,929
自圏内	89.1%	61.7%	98.6%	56.3%			
幡多から中央	8.9%						
高幡から中央		36.3%					
安芸から中央				43.0%			



患者住所別患者数

県計	幡多	高幡	中央	安芸
16,682	1,880	1,360	12,134	1,308
(17,774)	(2,118)	(1,441)	(12,711)	(1,504)

出典:平成23年度高知県患者動態調査
 ()内は平成17年度調査
 ※患者住所不明・県を外除く

高知県医療審議会医療法人部会

1 第1回 平成23年8月8日(月) (審議 5件)

- (1) 医療法人の設立認可の適否審議 1件
 - ① 医療法人「長幸会」(津野ペインクリニック内科) (土佐市)
- (2) 医療法人の解散認可の適否協議 2件
 - ① 医療法人「楠目会」(楠目歯科医院)
 - ② 医療法人「ハネ会」(羽根医院)
- (3) 医師以外の理事長選出認可の適否審議 1件
 - ① 医療法人「共生会」(医療法人共生会下司病院) (高知市)
- (4) 医療法人の合併認可の適否審議 1件
 - ① 社会医療法人「近森会」(近森病院ほか) (高知市)
 - 医療法人「忠恕会」(千屋崎病院) (南国市)

以上について諮問し、審議の結果、認可が適当であるとの答申を受けた。

参考(報告事項 平成21年度 医療法人「仁心会」(石川記念病院)の医師以外の理事長選出認可後の対応状況)

○平成22年度審議の状況

	法人設立	法人解散	非医師理事長		計
H22. 7	6	2	1		9
H23. 3	2	1	1		4
計	8	3	2		13

○平成21年度審議の状況

	法人設立	法人解散	非医師理事長	社会医療法人	計
H21. 7	1		1		2
H21. 12	1	1	1(継続)	1	4(内1継続)
H22. 3	3	2	1		6
計	5	3	3(内1継続)	1	12(内1継続)

○県内の医療法人の状況等 (H24. 2. 29 現在)

医療法人数 380 (内 社会1、特定6、大臣所管3、非医師理事長14)

社会医療法人 近森会(近森病院等)

特定医療法人 仁生会(細木病院等)、同仁会(同仁病院)、久会(久病院等)、
芳公会(香長中央病院)、竹下会(竹下病院)、仁泉会(朝倉病院)

大臣所管法人 社団晴緑会(高知総合リハビリテーション病院等)、
修命会(土佐清水病院等)、互生会(筒井病院等)

高知県災害医療対策本部会議

1 高知県災害医療対策本部会議の開催状況

(1) 第1回災害医療対策本部会議

ア 開催日 平成23年9月6日

イ 議事内容

- ・災害医療救護計画の見直しについて

昨年度から見直しを進めている「災害医療救護計画」について、東日本大震災を受けて本年度に改めて見直していく内容及びスケジュールについて検討した。

(2) 第2回災害医療対策本部会議

ア 開催日 平成24年2月20日

イ 議事内容

- ・災害時医療救護計画の改訂について

第1回目の本部会議で検討した「災害医療救護計画」の改訂作業及びスケジュールに基づいて、見直し検討委員会及び各部会で実施してきた同計画の改訂作業の結果を「災害時医療救護計画（改訂案）」として提出し、内容等の確認等を行ったうえで承認を図った。

2 平成23年度における災害医療救護計画見直し検討委員会等の開催状況

(1) 検討委員会を3回開催

①H23. 7. 6 ②H23. 12. 26 ③H24. 2. 9

(2) 作業部会を5回開催

①H23. 8. 19 ②H23. 10. 17 ③H23. 11. 14 ④H23. 12. 8 ⑤H24. 1. 23

(3) 医薬品部会を4回開催

①H23. 8. 22 ②H23. 10. 31 ③H23. 12. 8 ④H24. 1. 25

3 その他災害関連の動き（DMAT等）

(1) 高知DMAT協議会の開催（第1回：平成23年9月15日 第2回：3月中を予定）

- ・高知DMAT運用計画の改訂についての協議や東日本大震災における医療支援を報告

(2) 新たなDMATチームの育成

研修種別	平成23年度 修了チーム数	全チーム数
日本DMAT研修	3	22
高知DMAT研修	2	18
合計	5	40

(3) 東日本大震災への支援活動を5月末まで実施

東日本大震災における医療支援活動

医療政策・医師確保課

1 高知DMAT（災害派遣医療チーム）

- ・災害急性期に活動する専門的なトレーニングを受けた医療チームで、医師、看護師、業務調整員で構成するもの。
- ・高知県と高知DMAT指定病院との協定に基づき派遣した。

病院名	人数	活動期間	活動場所	活動内容
近森病院	5名	3/11～3/15	福島県福島空港	・福島空港 SCU（臨時医療救護施設）における SCU 活動（広域医療搬送患者のトリアージ・安定処置等）を統括。 ・空港内に設置された臨時救護所で避難してきた傷病者等の応急処置 等
高知大学医学部 附属病院	5名	3/11～3/14	福島県福島空港	・福島空港 SCU における SCU 活動
高知医療センター	4名	3/12～3/15	岩手県いわて花巻空港	・いわて花巻空港を拠点とした資機材搬送及び患者の域内搬送を実施 ※ドクターヘリを活用
愛宕病院	6名	3/12～3/14	茨城県高萩市	・総合福祉センターでの避難者の健康維持活動及び周辺の情報収集
国立病院機構高知病院	5名	3/17～3/21	岩手県陸前高田市	・避難所等での避難者の健康維持活動及び周辺の巡回診療（DMAT としての派遣だったが、現地の状況により医療救護活動に切り替え）

合計 5 病院 5 チーム 25 名

2 医療救護班

- ・宮城県からの災害対策基本法第 74 条による応援要請に基づき、県が県内医療機関に災害救助法に基づく医療支援を依頼し派遣したもの。
- ・各医療機関の医師、看護師、薬剤師、調整員（事務）で構成。

病院名	人数	活動期間	活動場所	活動内容
須崎くろしお病院	4名	3/28～4/1	宮城県南三陸町	・避難所等での避難者の健康維持活動及び周辺の巡回診療 等（DMAT として派遣）
高知医療センター	4名	4/5～4/10	宮城県南三陸町	・避難所等での避難者の健康維持活動及び周辺の巡回診療 等（DMAT として派遣）
	5名	4/11～4/17	宮城県南三陸町	・避難所等での避難者の健康維持活動及び周辺の巡回診療 等
	5名	4/18～4/24	〃	〃
	5名	4/25～4/30	〃	〃
県立安芸病院	5名	4/30～5/9	宮城県仙台市七ヶ浜町	・国際村診療所での診療活動 等
	5名	5/14～5/23	〃	〃

県立幡多けんみん	5名	5/7~5/16	〃	〃
病院	5名	5/21~5/30	〃	〃

合計 4病院9チーム 43名

【参考】高知県の要請以外で派遣された県内の医療支援活動

1 日本赤十字社高知県支部救護班

- ・日本赤十字社本社からの要請により、高知県支部が派遣。医師、看護師、調整員等で構成する。
- ・3月12日から6月6日までの間、合計12班（延べ87名）を派遣。
- ・主に宮城県石巻市にて、避難者の健康維持活動、巡回診療、また、石巻市災害対策本部における本部機能の調整業務や地域の病院支援などにあたる。

2 日本医師会災害医療チーム（JMAT）

- ・日本医師会からの要請に基づき、高知県医師会が派遣。医師、看護師、調整員等で構成する。
- ・3月23日から4月3日まで、近森病院3班、くぼかわ病院1班の、合計4班（20名）が出動し、宮城県石巻市及び南三陸町にて、避難者の健康維持活動や病院支援を行う。

3 高知大学医学部附属病院

- ・文部科学省からの要請に基づき支援活動を行う。
- ・医師、看護師等からなる医療支援チーム10班、精神科チーム2班、法医学者2名の、合計45名を派遣。3月19日から4月29日まで活動。
- ・医療支援チームは宮城県石巻市での病院支援と巡回診療に、精神科チームは宮城県内での心のケア、法医学者は宮城県内及び福島県内の遺体安置所で検案作業にあたる。

4 高知県歯科医師会

- ・日本歯科医師会からの要請に基づき、5月22日から5月29日の期間に1チーム（歯科医師2名）を派遣。
- ・宮城県気仙沼市の避難所等において、口腔ケア等の健康維持活動に従事。
- ・ハブラシ約1万本の支援を行った。

5 高知県薬剤師会

- ・日本薬剤師会からの要請に基づき、4月1日から6月末までに計19チーム（薬剤師84名）を派遣。
- ・宮城県石巻市の石巻赤十字病院での病院支援活動や、市内の避難所等での調剤や医薬品の管理、巡回指導等を行った。

6 高知県看護協会

- ・日本看護協会からの要請に基づき、4月4日から4月24日までの間、災害支援ナース5名を派遣
- ・宮城県と福島県内の避難所での診療支援や避難者の健康維持活動に従事。

高知県救急医療協議会

◆第1回

- 1 開催日 平成23年7月11日(火)
- 2 報告事項
 - (1) 救命救急センターの指定について
 - (2) ドクターヘリの運航状況について
 - (3) 地域医療再生計画(案)について
- 3 議題
 - (1) 今後の救急医療体制の在り方について
 - (2) 高知大学医学部災害・救急医療学講座(仮称)の設置について
 - (3) 保健医療計画について
 - (4) その他

内容：報告事項については、平成23年5月16日に近森病院を救命救急センターに指定したことを報告した。また、同年3月に就航したドクターヘリの運航状況の報告及び、厚生労働省へ提出した高知県地域医療再生計画案の概要を説明した。議題については、高知医療センターが平成22年度より実施している動画伝送事業についての説明を行い、今後、専門委員会で協議していくこととされた。次に、災害医療・救急医療の質の向上のため高知大学医学部に本県からの寄付講座を設置することを承認。また、第6期保健医療計画の策定について協議を行った。

◆第2回

- 1 決裁日 平成24年2月15日(水) ※書面審議により協議
- 2 報告事項
 - (1) 「消防職員が行う心肺機能停止傷病者に行う救急活動プロトコール」の変更について
 - (2) 「救急救命処置実施基準」の変更等について
 - (3) 平成23年度のクレジットの認定状況について
- 3 議題
 - (1) 「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の見直しについて
 - (2) 検証票の見直しについて

内容：平成23年11月1日付で、細木病院が救急告示病院に認定されたことを受け、「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」にある医療機関リストに同病院を登載することについて協議を行った。また、救急救命処置実施基準の第13検証票に定めのある高度救急症例患者を医療機関に搬送する際に使用する検証票等について、見直しを行った。報告事項については、消防関係の上記4つの報告を行った。

平成 23 年度 高知県がん対策推進協議会 概要

1. 開催日 平成 23 年 10 月 19 日 (水)

2. 議題 及び 概要

(1) 高知県がん対策推進計画の進捗について

- ・平成 23 年度の新規事業及び計画のこれまでの評価と課題について報告
- ・年齢調整死亡率が高くなった理由、がん検診の受診率について、肝炎に関することなどについて委員から意見あり

(2) 幡多けんみん病院のがん診療連携拠点病院新規指定推薦について

- ・幡多けんみん病院をがん診療連携拠点病院として推薦することについて報告
- ・推薦することについて了承を得る

(3) 高知県がん対策推進計画の見直しについて

- ・計画見直しのスケジュール及び医療体制調査の調査項目について説明
- ・調査項目について委員から削除・追加の意見をいただく

3. 次 回 平成 24 年 3 月 28 日 (水)

平成 23 年度 高知県周産期医療協議会 概要

1. 開催日 平成 23 年 9 月 13 日 (火)

2. 議 題 及 び 概 要

(1) 高知医療センターの分娩受け入れ調整について

- ・ 高知県における周産期医療の現状及び高知医療センターの現状報告
- ・ 高知医療センターに分娩が集中する状況が続けば、高リスクの出産に常時対応するという本県の総合周産期母子医療センターとしての機能を果たせなくなる恐れがあるということで、県内の分娩取扱施設の状況を把握したうえで、高知医療センターの分娩受入数を調整していくことを検討することとなった。

(2) セミオープンシステムの検討について

(3) HTLV-1 母子感染対策について

(第 1 回高知県 HTLV-1 母子感染対策協議会)

(4) その他

- ・ 第 6 期保健医療計画の策定に向けてのスケジュールについて
- ・ 先天性代謝異常の新しい検査法 (タンデムマス法) について
- ・ 周産期医療情報システムの移設報告
- ・ 平成 22 年人口動態統計資料について

3. 次 回 平成 24 年 3 月 29 日 (木)